

令和4年度多摩市予算(案)について

一般会計予算 630億6,700万円（前年度比0.1%増）
3つの特別会計を合わせた総予算 945億6,304万2千円（1.2%増）

長期化するコロナ禍において、市民生活の下支えと アフターコロナを見据えた取り組みを着実に進める！

令和4年度は、長引くコロナ禍の影響のもと、市民の生命、健康、生活を守ることを最優先に、感染症対策や経済活動への支援、地球温暖化対策などの喫緊の課題に着実に取り組むための予算を編成しました。引き続き感染症をはじめ今後の動向を慎重に見通しながら、丁寧かつ迅速・果敢な財政運営を進めて行くこととする。

<予算編成方針>

1 ウィズコロナ、ポストコロナに向けた取組

新型コロナウイルス感染症は、依然として市民生活や経済活動へ大きな影響を及ぼしており、引き続き、感染症対策の徹底を行いながら、長期化を見据えた生活支援や経済活動への支援など、地域に活力を取り戻す取り組みを切れ目なく進める。

2 「気候非常事態宣言」を踏まえた環境負荷低減に向けた取り組み

地球温暖化による「気候危機」について、市民と問題を共有するとともに、使い捨てプラスチックの削減、脱炭素社会に向けた施策について全庁をあげ積極的に展開する。あわせて、近年頻発している異常気象を起因とした自然災害への備えなど、防災機能の強化にも取り組む。

3 健幸まちづくりのさらなる推進

コロナ禍におけるフレイル対策など健康二次被害の防止に向けた取り組み、増加する生活困窮への対応、孤立を防ぐための受け入れの場の確保及びデジタル活用等による交流機会の確保に留意して事業を構築する。

4 魅力あるまちづくり

令和4年度はパルテノン多摩のリニューアルオープンを控え、その後も中央図書館の整備工事、ニュータウン再生の取り組みなどにより、まちの姿が大きく変わって行くこととなる。また、コロナ禍により、生活様式や働き方など市民の暮らし方にも大きな変容が訪れており、時代に適応した施策や仕組みづくりに向け事業を抜本的に見直し、誰もが安心して希望を持って暮らせる、魅力あるまちづくりへの取り組みを進める。

5 持続可能な行財政運営に向けた取り組みの強化

事業の有効性や手法を一から見直した上で、デジタル技術や公民連携の積極的な活用など、効率性の向上、経常経費の削減を図るほか、庁舎や複合施設など公共施設の老朽化問題についても「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の取り組みを着実に進める。

＜予算の特徴＞

- 1 歳入においては、今年度実績等を考慮し、市税や税連動交付金では令和3年度当初予算で見込んだほど、新型コロナウイルス感染症の影響による減収が生じないと想定し、約15億2千万円の増額とした。
- 2 歳出では、パルテノン多摩の大規模改修事業の完了などにより普通建設事業費は大幅に減少したが、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増や、引き続きの扶助費の自然増や繰出金の増などにより、一般会計の予算規模としては630億6千7百万円と過去最大規模となった。
- 3 歳出が増加したものの、市税及び税連動交付金等の増加等により、それ以上に一般財源が増加したことから、財政の硬直化を示す経常収支比率は2.9ポイント改善した。
- 4 全体的に事業費の削減を行った令和3年度に比べ、歳入が増加したことにより、令和4年度は「気候非常事態宣言」を踏まえた環境負荷軽減に向けた取り組みや魅力あるまちづくりに関する取り組み等を、積極的に進めることとした。これら政策を進めるために、財政調整基金をはじめとした各種基金についても活用し、予算編成を行った。

《歳入》

- ① 令和3年度より新型コロナウイルス感染症の影響による減収が少ないと見込んだことによる市税の増・・・約15.6億
- ② 新型コロナウイルスへの対応、扶助費の増加に伴うものなどによる国庫支出金の増
・・・約14.8億
- ③ 普通建設事業費の減少に伴う繰入金（基金の活用）の減・・・約△29.9億

《歳出》

- ① 中央図書館整備工事による増・・・約28.3億
- ② 高齢化等による各特別会計への繰出金の増・・・約2.5億
- ③ 複合文化施設等（パルテノン多摩）の大規模改修工事の減・・・約62.8億

《主要事業》別紙参照